



# 臨床における看護研究活動の促進を考える会

責任者：中野千恵子

共同者：岡田みずほ 工藤真由美 遠藤良仁

令和5年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

## ●活動の概要

臨床における看護研究の意義とその運営を支援する組織体制など検討する機会とすることを目的とし担当者の目指す目標や創意工夫、困難感などを語りあう場づくりを行った。

日時・場所	テーマ・内容・講師
第1回目7月15日(土) 10:00~12:00 アイーナキャンパス	『臨床での看護研究活動支援の実践から得たこと』 講師：岡田みずほ
第2回目10月21日(土) 10:00~12:00 アイーナキャンパス	『研究実践体制を再考する』 講師：工藤真由美 『看護研究のサポートのポイント』 講師：遠藤良仁
第3回目2024年 1月27日(土) 10:00~12:00 アイーナキャンパス	『イントロダクション看護研究支援する側と看護研究を行う側の現状と課題』 講師：岡田みずほ 『人材育成の目標としてのコンピテンシー』 講師：工藤真由美 『看護研究支援活動におけるコーチングの役割』 講師：中野千恵子

## ●活動の成果

毎回、4名の参加者（看護管理者3名，スタッフ1名）と企画者4名を加えた8名で対話を重ね、個別面談も行った。

意見交換の中では、看護研究活動の支援にはかなりの時間と労力を要することや研究支援を行う際に必要な資源の活用方法に苦慮していることなどが語られた。

研修会の全日程を終えた時点で、参加者からはこの研修会で検討したことを自病院の看護研究体制の整備に活かす準備を進めているとの発言も聞かれた。研修会を通じて、臨床における看護研究活動の意義を問いなおすものとなった。また、研究活動の組織的支援のあり方や安心して対話できる場を充実させていく必要があることがわかった。